

## 防草対策（シート）施工の報告

岡山県土木施工管理技士会  
株式会社 日橋コンサルタント

小栗 敦彦  
Atsuhiko Oguri

### 1. 工事内容

当該施工は、平成19年に実施した現道の維持管理の一環に含まれる除草対策である。

その中で実施した対策工（試験施工）に於ける経過である。

歩道部に設けられた植栽帯区間（L=140m）で実施した、防草対策（試験施工）除草費用削減及び視距確保を目的として、現道の上り勾配且つ曲線区間（植栽帯）を維持費削減と視距確保のための防草対策としてシートによる防草対策（A≒100㎡）を実施した。上りから下り勾配（2.1～3.1%）、R=200mの曲線区間で実施した。

### 2. 工事の経緯

今回、対策を施すにあたり

（条件）

- ① 維持費の削減につながること。
- ② 視認性の向上

（施工方法比較検討）

- ① 在来工法（張りコンクリート）
- ② 新規工法（防草シート等）

（その他）

・冬季施工

上記の条件より、安価且つ手間の掛からない「防草シート」による施工を採用した。

その結果、「視認性の向上」は、目的を達成出来た。

しかし、春（4月以降）より経過観察により、施工箇所の一部より新芽が「防草シート」を突き破り出てきた。

突き破ってきた正体は、チガヤ（イネ科）であった。

この結果、新芽を刈り取り実施し落ち着いた。

### 3. 反省点

反省点は、植物の育ち方を把握しきれていなかった事。

原因は、植物は遮光しても一時的には育ち、チガヤ等（イネ科等）の様に遮光しても新芽の先の鋭いものは繊維を突き抜けてしまうことであった。

対策として、植生を把握し①シート素材変更②除草剤散布等の対応を図るべきであった。

こうした、基本的な事項を再度認識すると共に、今後の工事（対策工）に反映させて行きたい。



写真-1 (施工前：除草後)



写真-3 (写真2近影①)



写真-2 (施工後：チガヤ等新芽)



写真-4 (写真2近影②)